

500g

造影補助剤

処方箋医薬品^{注)}D-ソルビトール原末
「マルイシ」

D-Sorbitol 「Maruishi」

日本薬局方

D-ソルビトール

注) 注意—医師等の処方箋により使用する
こと

製造販売元

Ⓜ 丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

500g

D-ソルビトール原末
「マルイシ」

<調剤包装単位用コード>



(01)04987211235529

製造番号

使用期限

販売包装
単位用コード

A-2

500g

造影補助剤

処方箋医薬品^{注)}D-ソルビトール原末
「マルイシ」

D-Sorbitol 「Maruishi」

日本薬局方

D-ソルビトール

注) 注意—医師等の処方箋により使用する
こと

製造販売元

Ⓜ 丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2

開封口

D-ソルビトール原末「マルイシ」 500g

注意—医師等の処方箋により使用すること

2018年6月改訂(第3版)	
2014年12月改訂	
日本標準商品分類番号	877990
承認番号	22000AMX02204
薬価収載	2008年12月
販売開始	2008年12月
再評価結果	1982年1月

貯法：(1)吸湿注意 (2)室温保存
使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

●組成・性状

1.組成
本品1g中 日局D-ソルビトール1g含有。2.性状
白色の粒、粉末又は結晶性の塊で、においはなく、味は甘く、冷感がある。
水に極めて溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
吸湿性である。

●効能・効果 ●用法・用量

効能・効果	用法・用量
○消化管のX線造影の迅速化	×線造影剤に添加して経口投与する。 添加量は×線造影剤中の硫酸バリウム100gに対してD-ソルビトールとして10～20gとする。
○消化管のX線造影時の便秘の防止	
○経口的栄養補給	必要量を粉末あるいは水溶液として経口投与する。

●使用上の注意

- 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
(1)重大な副作用
腸穿孔、腸潰瘍、腸壊死：ポリスチレンスルホン酸ナトリウムのソルビトール懸濁液を経口投与し、小腸の穿孔、腸粘膜壊死、大腸潰瘍、結腸壊死等を起こした症例が報告されているので、激しい腹痛又は下痢、嘔吐等があらわれた場合には本剤の投与を中止し、適切な処置を行うこと。
(2)その他の副作用
消化器：大量投与により腹痛、下痢、腹部膨満、放屁等の症状があらわれることがある。
- 適用上の注意
動物実験(ラット)で、ソルビトールの注腸投与により腸壁壊死を起こすことが報告されている。また、外国においてポリスチレンスルホン酸型陽イオン交換樹脂のソルビトール懸濁液を注腸し、結腸壊死を起こした症例が報告されているので、本剤を注腸しないこと。
- その他の注意
ポリスチレンスルホン酸カルシウムのソルビトール懸濁液を経口投与し、結腸狭窄、結腸潰瘍等を起こした症例が報告されている。